

科目名：歯科診療補助論Ⅲ		必	2単位
(Assisting for Dental Practice Ⅲ)			
履修年次/時期：1年次 後期 授業形態：講義			
担当教員：片岡あい子（実務経験有）、角田 晃（実務経験有）、田島小百合（実務経験有）			
学修目的	歯科衛生士の業務の1つである「歯科診療の補助」では、歯科材料・器具を適切に取り扱うことが求められる。取り扱いには、材料・器具の知識を十分理解しなければ治療の結果に大きく関わってくるため、手技だけではなく理論的に知識を修得し、適切に診療補助ができることを目的とする。 CP 2,3,4、DP 2(1),(2), 3(3)に関連する。科目 No. S1C12H29		
到達目標	1. 歯科材料の素材および所要性質について修得する。 2. 各種印象材の理工学的知識を修得し、精度の良い印象採得へつなげられる。 3. 模型材の理工学的知識を修得し、精度の良い模型作製へつなげられる。 4. 合着材・接着材の理工学的知識を修得し、適切に修復物を装着する補助ができる。 5. 仮封の目的および種類を理解し、患者様へ注意事項を伝えることができる。 6. 歯周バックの目的を理解し、患者様へ注意事項を伝えることができる。 7. 成形修復材の理工学的知識を修得し、適切な診療の補助につなげられる。 8. 歯面および修復材研磨に用いる器材について理解し、適切な診療の補助につなげられる。		
授業概要	歯科衛生士は多くの歯科材料および器具を扱っている。歯科材料の理工学的知識は診療の補助および介助を行う上で必要である。また、器具についても熟知して業務に関わらなければ診療は円滑に、安全に行うことはできない。そこで臨床で頻用する材料、器具について講義形式で学ぶ。		
評価方法	筆記試験（80%）、受講態度・小テスト（20%）により評価する。小テストは毎回授業の最後に実施する。以上を総合評価し、単位認定を行う。 小テストに対するフィードバックは小テスト終了後に解説する。また、中間及び後半の振り返り授業に行う。本試験のフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習時間】2時間 【復習時間】2時間		
教科書	A：最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社 B：最新歯科衛生士教本『歯科材料』松井恭平 他著 医歯薬出版株式会社 C：最新歯科衛生士教本『歯科機器』末瀬一彦 他著 医歯薬出版株式会社		
参考書	臨床科目の教科書		
オフライン連絡先	片岡：月～金曜日 16：40～17：00 kataoka@kdu.ac.jp 3号館 2F 片岡研究室 角田：月～金曜日 16：40～17：00 tsunoda@kdu.ac.jp 4号館 2F 角田研究室 田島：月～金曜日 16：40～17：00 tashima@kdu.ac.jp 3号館 2階教員研究室 不在時にはメールでお願いします。		